

言語聴覚士



医療技術部
リハビリテーション部門
言語聴覚士
令和6年4月採用

ある1日の
スケジュール



診察に合わせて予約された聴覚・
発声・平衡機能の各種検査を行います。



周産母子
センターにて、
新生児聴
覚スクリー
ニング
検査を実施
します。



カウンセリングを経て、補聴器の
フィッティングや検査をします。



1日のスケジュールを確認し、各種検査
機器の点検を行います。



人工内耳の
マッピング
をします。
患者さんが
子どもの場
合は、保育
園や学校と
も連携しま
す。



診療記録の作成と
翌日のスケジ
ュール確認を
して業務終了
です。
帰宅後は夫と
家事を分担し
つつ、夕食後
に子供との時
間を取り、リ
ラックスした
時間を過ご
しています。



現在担当している業務について教えてください

耳鼻咽喉科頭頸部外科の外来で、各種検査やリハビリテーションを担当しています。

検査としては診察に合わせて、聴覚、発声、平衡機能検査、新生児聴覚スクリーニング検査などの専門的な検査を実施しています。リハビリテーションとしては人工内耳のマッピングや補聴器のフィッティングを行っています。

仕事をするうえで心がけていることを教えてください

朝早くの来院で、待ち時間で疲れてしまう患者さん多いので、できるだけ負担を軽減できるよう、素早くかつ丁寧で正確な検査を心がけています。また、患者さんや職員に対して気持ちの良い挨拶をするように意識しています。

高知大学医学部附属病院の言語聴覚士として働く魅力を教えてください

聴覚障害の精密検査医療機関なので、難聴児・者の検査や聞こえのサポート、また、人工内耳の手術の立会いやその後のリハビリ等を担当することができます。その中で、患者さんが聴覚を活用して会話を楽しむ様子をみるとやりがいを感じます。各種検査は機械を扱うので、覚えることも多く不安もありましたが、先輩方に指導していただき一つ一つ確認しながら作業を行っています。また、入職後すぐに、病院全体のことやマナー等の幅広い研修があり、社会人として、大学病院で働くにあたっての心構えを学ぶことができる教育体制も魅力です。

目標とする将来像を教えてください

患者さんに信頼してもらえる「聞こえのスペシャリスト」になることです。日々の診療の中でどうすればより聞こえやすくなるかを考え、自身で調べたり、先輩からアドバイスをもらいつつ、日々精進しています。今後は、学術大会や研修会へも積極的に参加して自身のスキルアップを図り、患者さんへ還元していきたいと考えています。

部署からのメッセージ

全国でも数少ない聴覚を専門としたリハビリテーションや検査を習得することができます。経験豊富な言語聴覚士が数多く在籍しており、適宜アドバイスもらえる環境です。やりがいある職場で、充実した日々を一緒に送りませんか？